

# 経済学演習Ⅰ

必修 2単位

奥田 英信

## 1. 授業の概要(ねらい)

「アジア金融論」の授業です。

アジアの経済発展における金融の役割、アジアの金融発展の過程と仕組み、について勉強します。

途上国の経済開発について、金融面でのメカニズムについて興味のある人を、対象としています。

## 2. 授業の到達目標

経済発展と金融発展(financial development)との相互関係について、経済学ではどのように捉えているのかを説明できる。

東・東南アジア諸国の金融発展メカニズムについて、経済学の視点から説明できる。

金融発展に関する実証分析について、基本的な手法を説明できる。

## 3. 成績評価の方法および基準

ゼミへの参加度、ゼミ報告の水準などから、総合的に評価します。

## 4. 教科書・参考文献

教科書

奥田・三重野・生島 『新版 開発金融論』 日本評論社

参考文献

最初のゼミで、相談して決めます。

## 5. 準備学修の内容

報告者は、相談して決めた文献・資料を丁寧に読んで、報告用のメモを作成してください。

それ以外の参加者は、疑問点をリストアップしてください。

## 6. その他履修上の注意事項

毎回、参加することが履修条件です。

## 7. 授業内容

【第1回】 イントロダクション:ゼミナールの進めかたを相談して、具体的な予定を決めます。以下は、暫定的な予定の一案です。

【第2回】 経済発展における金融の役割とは何か

【第3回】 過去半世紀の開発金融政策パラダイムの変遷

【第4回】 東南アジア諸国における開発金融パラダイム:産業高度化と金融制度

【第5回】 東南アジア諸国における開発金融パラダイム:金融制度への政治的社会的要素の重要性

【第6回】 東南アジア諸国における開発金融パラダイム:近年の課題

【第7回】 金融発展における銀行と市場:銀行と市場の機能と経済発展

【第8回】 金融発展における銀行と市場:東南アジアの経験

【第9回】 途上国の銀行とその経営特性

【第10回】 金融発展における外国銀行の役割

【第11回】 途上国の銀行のミクロ経済分析:効率性

【第12回】 途上国の銀行のミクロ経済分析:効競争度

【第13回】 途上国の銀行のミクロ経済分析:資本構成

【第14回】 途上国の証券市場:必要性和制約

【第15回】 途上国の証券市場:東南アジア諸国の経験